

# 『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。




今回ご紹介する国は  
「クウェート」

第3号(2008年3月26日)



## クウェートの基本情報

クウェートはアラビア湾の北西に位置しており、南と南西はサウジアラビア、北と西はイラクと国境を接し、東はアラビア湾に面しています。クウェートに属する沖合いの9諸島を含めた国土総面積は17,818平方kmで、日本の四国よりやや狭い大きさです。国土のほとんどが平坦な砂漠地帯で、山岳地帯や河川は存在しません。南部地帯は砂地で水深が深いため良港の適地となっており、クウェートの港のほとんどが南部沿岸に集中しています。年間の平均気温は25度前後ですが季節による気温の変動は大きく、夏季は最高気温が50度に達することもあります。一方、冬季には夜に最低気温が5度を下回るほど急激に寒くなる日もあります。18世紀にアラビア半島中央部から移住した部族がクウェートの基礎を作り、1899年に英国の保護国となりました。そして1961年6月19日に英国から独立してクウェート国が誕生しました。

首都:	クウェート	国章:	
面積:	17,818平方キロメートル		
人口:	約299万人(2005年末)(内クウェート人99万人)		
言語:	アラビア語。英語も広く話されている。		
宗教:	イスラム教85%(スンニ派70%、シーア派30%) その他15%(キリスト教、ヒンドウ教、ゾロアスター教など)		
一人あたりGDP:	27,017USD(2005年)		
GDP成長率:	10%(2005年)		



## 大使館情報

面会者:

**クウェート大使館**  
モハメッド・アルムタイリ 二等書記官

今回お会いしたのは、クウェート大使館のモハメッド・アルムタイリ 二等書記官です。アルムタイリ氏は07年11月に駐日クウェート大使館に赴任となり、それまではカナダのクウェート大使館に勤務されていたそうです。  
(2008年1月31日に訪問)



所在地:

東京都港区三田4丁目13-12

周辺は慶應義塾大学などいくつもの学校が立ち並ぶ学生街です。大使館は、戦後初の国際的な建築家であり、世界的に最も有名な日本人建築家によって設計された、非常に個性的な建物でした。



出所:外務省  
クウェート大使館

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。

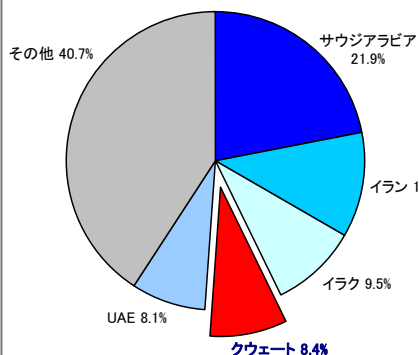


## クウェート経済を支える石油・ガス産業

1938年に発見された石油は第2次世界大戦後本格的に開発され、1946年に輸出が開始。それ以降、クウェートは国家収入の大部分を原油と石油製品の売上に依存し、目覚ましい経済発展を遂げてきました。

### 1. 豊富な原油埋蔵量

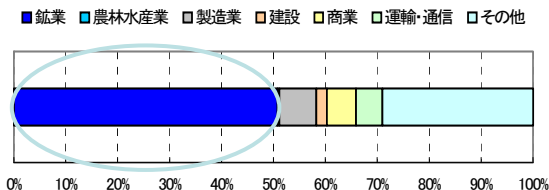
世界の原油埋蔵シェア(2006年)



クウェートは非常に小さな国ですが、その原油埋蔵量は近隣の大国であるサウジアラビア、イラン、イラクに次いで堂々の世界第4位で、現在の産出量で計算した可採年数は約120年とも言われています。

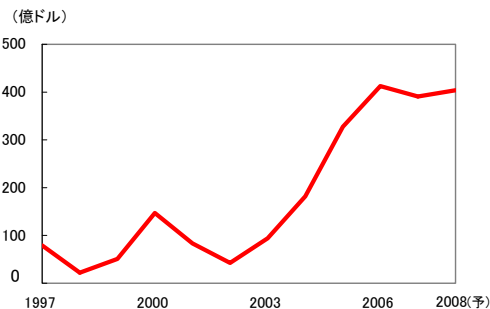
### 2. 石油・ガス産業への高い依存

産業別のGDP構成比(2006年)



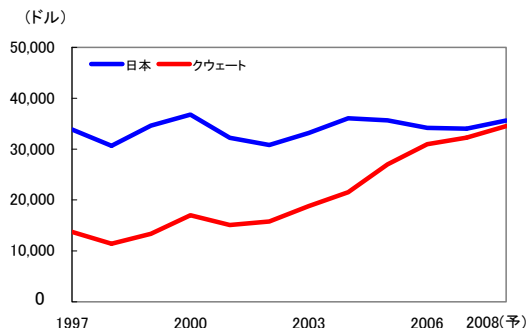
クウェートはGDPの約50%を石油・ガス産業に依存しています。単に原油を採掘して販売するだけでなく、より付加価値の高い石油製品へと加工し、収益の最大化を図っています。

### 3. 経常収支



好調な石油・ガス産業に支えられ、クウェートの経常収支は年々増加しています。また近年の資源価格高騰が経常収支の増加に大きく貢献しています。

### 4. 一人当たりGDP



莫大な石油収入を背景として、一人当たりGDPも年々増加しており、今や日本と肩を並べる水準にまで成長しています。

出所: 国連、BP Statistical Review of World Energy 2007、IMF World Economic Outlook for Oct, 2007

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は「クウェート」

## 石油依存経済からの脱却

クウェート経済は過度に石油収入に依存し、原油価格の変動により影響を受けやすい脆弱性を有しています。そのため、サバーハ新首長は、クウェートを湾岸地域の経済・金融センターとする方針を明確に打ち出し、大規模プロジェクトと経済改を推進しています。

### 1. 金融立国

クウェートは莫大な石油収入を浪費することせず、余剰資金を海外に投資・運用し、その運用益で国の歳入を賄うことを基本政策としています。この政策の下、毎年国家収入の10%を次世代準備金として積み立て、政府機関であるクウェート投資庁がこれらの資金を海外で投資、運用しています。これにより、原油価格変動の影響を受けやすい産業構造のリスクを軽減しているのです。



湾岸戦争前にはこの海外資産から得られる投資収入は石油収入を上回るほどになっていました。湾岸戦争での巨額の戦費や、戦後復興費用等のため海外資産が取り崩され、その額は一時期大幅に減少しましたが、現在は湾岸戦争前の水準をはるかに上回る規模に資産が拡大していると推定されています。

#### \*クウェート投資庁(KIA)

クウェート政府が1953年に設立した、世界で最も古い政府系ファンドの一つ。次世代準備基金(国家歳入の10%)と国庫準備金(各年度の財政赤字額)の運用を担当しており、クウェートの他、ロンドンにもオフィスがある。2008年1月には、サブプライム問題で巨額の損失を出した米シティグループに30億ドル、米メリルリンチに20億ドルを出資することが報じられ、話題になった。その他の主な投資先には独タイムラー、中国工商銀行などがある。

出所:クウェート大使館、(財)中東協力センター、クウェート投資庁

### 2. 民営化の推進とフリーゾーンの設置

民間部門活性化のため、クウェート政府は政府保有株式の民間企業への売却、電気、水など公共サービス部門の民営化プログラムを進めています。この他は、民間企業と外国企業の合弁事業の推進、自由貿易地区(フリーゾーン)開設など民間部門を活性化し、民間の役割の拡大を図っています。

#### <クウェート自由貿易区(KFTZ)における優遇措置>

- (1) 法人税、個人所得税の免除
- (2) 資本および利益のKFTZ域外への移転の自由と為替管理の適用外
- (3) 外資100%による企業進出の認可
- (4) 簡素な手続きによる各種ライセンスの取得
- (5) 外国人労働者の雇用
- (6) 迅速な居住許可証の取得
- (7) 銀行・金融サービスの提供
- (8) コンサルティングサービスの提供

#### 世界の主な政府系ファンド

<参考情報>

	名称	国名	運用資産 (億ドル)
1	アブダビ投資庁	UAEアブダビ首長国	6,250
2	政府年金基金	ノルウェー	3,220
3	サウジアラビア通貨庁	サウジアラビア	3,000
4	政府投資公社(GIC)	シンガポール	2,150
5	クウェート投資庁	クウェート	2,130
6	中国投資有限責任公司	中国	2,000
7	テマセク・ホールディングス	シンガポール	1,080
8	カタール投資庁	カタール	600
9	リビア投資庁	リビア	400
10	国民福祉基金	ロシア	320

出所:スタンダード・チャータード銀行報告書を基に日本経済新聞社が作成

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、  
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は  
「クウェート」

## クウェートにおける大規模開発

クウェートでは、現在以下のような大規模プロジェクトが進行中です。

### マディナット・アル・ハリアー(シルクシティ)計画

中東最大級の不動産事業であり、新たなインフラ、港、  
国際空港を含む、ビジネス・経済・住居の巨大複合都市計画

場所: スビヤ(クウェート北部)  
規模: 200平方キロメートル  
総工費: 約770億ドル(約8兆2000億円)  
完成: 2030年の予定



- ・ 約18兆9000億円の経済波及効果
- ・ 2030年までに年間約1兆6800億円のGDP押し上げ効果
- ・ 約43万人の民間部門での新規雇用創出
- ・ 原油への依存経済から脱却し、金融、不動産、貿易、物流、サービスなどの非資源産業の育成
- ・ 国内、海外の投資家に対する投資機会の提供
- ・ 急激な人口増加に対して、75万人分の住居を提供

### ブルジュ・ムバラク・アル・カブール

マディナット・アル・ハリアー内に建設が予定されている、完成すればアラビアンナイトの千一夜にちなんで1001メートルと世界一の高さになる200階建ての超高層ビル。



オフィス、ホテル、レジャー施設住居が入り、世界中にクウェートを印象付けるシンボルとなる。

出所: マディナット アル ハリアー (シルクシティ)HP  
日本経済新聞社

## クウェートナショナルデー(建国記念日)パーティーの様様

2008年2月21日に開かれたパーティーにご招待いただきましたのでご紹介致します。<東京・帝国ホテル>



クウェート大使と  
小池百合子、久間  
章生、両元防衛大臣  
によるケーキカット

クウェートの伝統的な料理や、日本食などが振舞われました。



### 訪問を終えて

クウェートというと湾岸戦争のイメージが強いですが、現在は戦後の財政赤字から完全に立ち直り、資源価格高騰の恩恵も受けて経済が急速に拡大してきています。イラクのフセイン政権崩壊による、政治的・軍事的脅威の払拭、原油価格高騰を元にクウェート政府は更なる経済発展に向けた取り組みを強化しており、成長が期待されます。  
(これらは全て2008年2月末現在の情報です)



クウェート大使  
(左から2番目)  
アルムタイリ二等  
書記官(右)

出所: クウェート大使館

取材・編集: スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部 投信グループ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。